



社会福祉法人博愛福祉会 下牧こども園

TEL : 46-9381 Fax : 46-9382

発行 令和8年10月1日

文責 園長 山田

おじちゃんと一緒に「箱イス」完成！

ぞう組の4人は、担任中島と副園長野村の指導のもと、地域の木育ボランティアの皆さんたちと一緒に箱イスづくりに取り組んできました。5回目の16日(木)は、いよいよエゴマ油を塗り込んで最後の仕上げでした。

おじちゃんと一緒にエゴマ油をしみこませた布で力をこめて磨きました。「子どもたちは優しいおじちゃんたちに少し甘えてみたいようなところも見



えてきて、じーじと孫のようでした」と担任が言っていました。子どもたちは、感謝の気持ちを込めて運動会に向けて取り組み中の和太鼓を披露しました。演奏の途中にも、何度でも拍手をしたり、「涙が出てきそう。」と話されたり、おじちゃんたちも子どもの頑張る姿が自分の孫でも見ているかのようにこみ上げるものがあつたようでした。この景色は、下牧こども園だけのこの下牧地域だけの唯一無二の誇れる光景だとしみじみ感じています。この先子どもたちが、おじちゃんと一緒に作った箱イスを手にする度に、おじちゃんの日焼けした笑い顔を思い出すかもしれません。つないだ手の大きさや温かさを思い出すかもしれません。ほめてくれた優しい声を思い出すかもしれません。それくらい、5回にわたる共同作業を通しておじちゃんたちの真心を身体で感じとれたことがこの箱イス作りの一番の収穫だったと思うと、私も感謝の念に堪えません。

「元気でいてね、おじいちゃん・おばあちゃん」

観劇を一緒に見て大爆笑した祖父母参観

今年も「敬老の日」に思いを重ねて「祖父母参観日」を実施したところ、多くの祖父母・ご家族の方に来ていただくことができました。この日のために子どもたちが先生と一緒に準備した手作りプレゼントは、「いつもありがとう。」「元気でいてね。」の言葉をそえて渡せたでしょうか。未満児では、渡す相手を間違える子もいて、本当のおばあ



ちゃんとはハラハラ、その場は大爆笑でした。無事渡せた時は、おばあさんもほっと苦笑いでした。お部屋ごとの時間の後は、劇団「風の子」の観劇を見て楽しみました。先生たちは「おばあちゃんたちの大笑いに子どもたちも巻き込まれるように一緒に笑って盛り上がっていました。」と話していました。劇団の方からは「子どもたちから『もう一回初めからやってください。』の声は、最高にうれしかったです。」と話してくださいました。祖父母の方々からは「楽しい時間でした。瑤子先生（飛び入り出演）が一番おもしろかった。」という声も聞こえて、瑤子先生も照れ臭さとうれしい気持ちの両方だったようです。活動へのご参加と温かいお言葉の数々に心よりお礼申し上げます。次は、運動会でお待ちしています。

「更生保護女性の会」の読み聞かせ（8月28日）

今回は、ぞう組さん5人が聞きました。3人の方が準備された絵本が想像や予測を働かせるようになるような3冊で、子どもたちの頭と心がフル回転で、聞くというよりはそれぞれの予測や想像をアウトプット（自分の考えを伝える）することを楽しんでいました。楽しい時間を「ありがとうございました。」とお礼を伝えると「おばちゃんの方が元気をもらったよ。」と言っていました。

